

令和4年9月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和4年9月22日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部健康づくり支援課

質問者 立千民 網中 肇 議員（入江担当項目）

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>9. がん対策について</p> <p>(1) 県内市町村におけるがん検診受診率の状況と課題はどうか。また、受診率向上に向けて、県はどのように取り組んでいくのか。</p>	<p>1 県内市町村における令和2年度のがん検診受診率を、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度と比較すると、52の市町村で受診率が低下し、そのうち11市町村で2割を超える低下が見られました。これは、県民の受診控えによるものと考えています。</p> <p>2 こうした状況の中では、効果的な受診率向上の取組がますます重要となることから、県では昨年度、行動経済学の知見を踏まえた、自発的にその人にとって好ましい行動を促す「ナッジ理論」を利用した受診勧奨の方法について、専門家を招き市町村担当者等を対象とした研修会を開催したところです。</p> <p>3 また、国においても、近年、受診率向上施策に関する事例集を作成・公開しているところであり、取り上げられた全国各地の好事例を参考として、本県のがん検診の受診率向上に資する取組を、県内市町村等と連携して進めてまいります。</p>	<p>副知事 黒野 嘉之</p>

令和4年9月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和4年9月22日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部健康づくり支援課

質問者 立千民 網中 肇 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>9. がん対策について (2) 協会けんぽの特定健診とがん検診の同時受診など、保険者と市町村が連携し、受診しやすい「連携健診」の実施を進めるべきと思うがどうか。</p>	<p>1 協会けんぽの被扶養者を対象に、協会けんぽが実施する特定健診と、市町村が実施するがん検診の同時受診は、受診者の利便性向上や各保険者が個別に行っていた受診勧奨の効率化などのメリットが期待されています。</p> <p>2 こうした取組は、これまで、協会けんぽの各都道府県支部の主導により進められ、県内では、千葉市及び木更津市において、協会けんぽ千葉支部と協定締結のうえ、実施されているものと承知しています。</p> <p>3 今後は、協会けんぽと市町村等の関係機関との連携体制の構築に向け、県が仲介役を担うことにより、こうした取組を広く県内市町村に展開できるよう協議を進めてまいります。</p>	<p>副知事 黒野 嘉之</p>
<p>(再質問) がん検診の受診率向上に向けて、その他具体的に取り組んでいくことは何か。</p>	<p>1 がん検診の受診率全体を底上げするためには、市町村の実施するがん検診のみならず、職域におけるがん検診についても受診率向上が不可欠です。職域におけるがん検診については、現在、法的な義務がなく、福利厚生の一環として実施されているため、詳細な実態を把握できていない状況にあります。</p> <p>2 このため、県では、県内の健康保険組合や事業所のうち3,000件を対象として、がん検診実施状況に係る初の実態調査の実施に向け、現在、準備を進めているところです。</p>	<p>保健医療担当 部長 井口 豪</p>

令和4年9月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和4年9月22日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名

健康福祉部健康づくり支援課

質問者 立千民 網中 肇 議員

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>（要望）</p> <p>県では、県内の健康保険組合や事業所のうち、3,000件を対象として、がん検診実施状況に係るはじめての実態調査を実施するとのことだった。</p> <p>県の積極的な対応を評価させてもらう。ぜひ、がん検診の受診率が低下した原因等を正確に把握をして、受診率が向上する有効な対策を講ずるための基礎調査となるよう、県の対応を要望する。</p>		

令和4年9月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和4年9月22日）

（代表・一般）

病院局 経営管理課

質問者 立憲民主・千葉民主の会 網中 肇 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>9. がん対策について</p> <p>(3) 県がんセンターにおいて、社会保険労務士やファイナンシャルプランナーによる専門相談体制を導入する必要があると思うがどうか。</p> <p>(要望)</p> <p>県がんセンターにおける専門・相談事業について、コロナの影響で、関係団体との協議を中断しているとのことだが、医療面と同時に、患者さんの生活支援、将来設計についても寄りそった対応ができるよう早期の実施・再開を要望する。</p>	<p>がんセンターでは、都道府県がん診療連携拠点病院として、がんに関する様々な相談を受けており、経済面の相談への支援として、専門的な知見を有する社会保険労務士による相談会を月に2回程度、開催しています。</p> <p>また、昨年度、ファイナンシャルプランナーの活用について、団体と協議を予定したところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、協議を中断しているところです。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症の状況や相談者のニーズを見極めながら、相談体制の充実について、引き続き検討してまいります。</p>	<p>副知事 黒野 嘉之</p>

令和4年9月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和4年9月22日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部健康づくり支援課

質問者 立千民 網中 肇 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>9. がん対策について (4) 県として、若年がん患者への在宅療養支援制度の創設を求めるがどうか。</p>	<p>1 がん患者が住み慣れた自宅で安心して療養できることは重要であり、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国では、今年度から支援を開始した群馬県、神奈川県を含む11県 ・県内では、千葉市、浦安市、柏市の3市において、若年末期がん患者に対し、訪問介護サービス等の費用について助成を行っています。 <p>2 県では、若年がん患者の在宅療養支援に当たっては、施策に関する基本的な考え方を含め、全国一律で制度設計することが望ましいと考えていることから、今年の3月に、全国衛生部長会を通じて、国に対し、若い世代のがん患者が住み慣れた地域社会で療養生活を送ることができるよう、これらの世代の患者に対する支援制度の創設について要望したところです。</p> <p>3 引き続き、国の動向を注視しつつ、他県の事例を参考にしながら、支援方法について検討してまいります。</p>	<p>副知事 黒野 嘉之</p>

令和4年9月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：令和4年9月22日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 健康福祉部 児童家庭課

質問者 立憲民主・千葉民主の会 網中 肇 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>8. 児童相談所一時保護所について (3) 中核市2市における児童相談所の新設に向けて、県はどのように支援していくのか。</p>	<p>1 県では、平成28年度から、船橋市及び柏市と児童相談所の新設に向けて、意見交換会を11回開催し、両市における人材確保の状況のほか、設置に向けた様々な課題について議論し情報共有を行っています。</p> <p>2 また、平成27年度以降、船橋市から26名、柏市から31名の研修職員を児童相談所に受け入れるほか、児童相談所の職員向けに実施している研修について、中核市の職員も参加できるようにするなど、人材育成の支援を行っているところです。</p> <p>3 引き続き両市と丁寧に協議を重ね、円滑に児童相談所が設置できるよう支援してまいります。</p>	<p>知事 熊谷 俊人</p>